

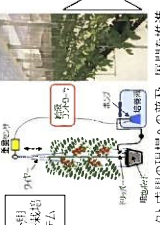
令和3年度 農業・農村関係 主要施策

AOIプロジェクトの推進
基本方向1

○AOI-PARCを拠点とした、農業の生産性向上や、産学官産・農商工連携による技術革新
○AI、ICT、ロボット等の先端技術を活用した生産性向上や労働力不足の解消

【AOIプロジェクト関連事業費】
データサイエンスを用いた先端農業技術等の研究開発や事業化成果の農業生産現場への普及・展開の推進 459,275千円
【次世代施設園芸デジタル化支援事業費助成（上記の内 46,000千円）】
自動化・省力化技術を活用したスマート農業推進のため、園芸施設の高次元環境制御機器の導入を支援

【AOI7°プロジェクト事業化件数】
(2018～19年度:累計8件)
⇒2018～21年度:累計22件



主な目標（内は現状値）

多様な人々が活躍する世界水準の農産品の生産力強化
基本方向2

○新型コロナウイルス感染症拡大により販売に影響を受けた農産物の販売回復や、環境変化、行動変容などへの対応
○静岡茶の販路拡大、国内のドリンク向けや海外の抹茶需要への対応強化
○市場の動向を見据えた選択的な生産拡大、供給力強化
○担い手の確保、育成、農業分野における労働力確保
○高収益作物が増産できる基盤整備や、企業的経営を行う担い手との連携
○成長の原動力としての輸出拡大
○消費者、顧客の行動変容や環境変化に適応した新しい商流・物流の構築

(1) 多彩な農産品の生産拡大
【農水産物販売促進対策事業費】
JA静岡経済連の通販サイト(EC)を活用して、県内農水産物の販売を強化 20,000千円
【お茶関連事業費】
静岡茶の再生を図るため、ChaOIプロジェクトを推進し、オーブンインベーションによる静岡茶の新たな価値の創出、需要に応じた茶の生産構造の転換、茶業研究センターの再整備 438,249千円
【農芸品供給拡大緊急対策事業費】
マーケットインの観点での供給力拡大のため、産地のマーケティング活動や鉄骨ハウス等新設を支援 155,000千円
【厥熱対策関連事業費】
養豚農場での厥熱発生を防止するため、養豚農場でのワクチン接種や野生イノシシ対策を実施 371,040千円
(2) 次代を担う農業経営体の育成
【農林環境専門職大学院連事業費】
農林業経営及び生産に関する実践的な知識・技術習得を中心とした教育等のほか、学生寮等の整備 2,259,000千円
【農を支える元農希望者の円滑な受入促進のため、就業に向けた中古農業用施設の再整備などを支援】
県内外の就業希望者の円滑な受入促進のため、就業に向けた中古農業用施設の再整備などを支援 59,500千円
(3) 農業の競争力強化と持続性を確保する基盤整備
【農業地域生産力強化整備事業費】
農業の高収益・低コスト化を図るため、茶・高収益作物・柑橘の「品目別基盤整備プロジェクト」を推進 3,357,000千円
【県営基幹農業用水利施設機能保全向上対策事業費】
農業用水の安定供給を図るため、農業水利施設の更新整備やICT水田水管理システムの導入を推進 1,989,000千円
(4) 市場と生産が結びついた「ぶじのくに」マーケティング戦略の推進
【農産品輸出促進関連事業費】
本県農産物等を海外に幅広く輸出する事業者を支援・育成、輸出規制に対応する施設整備を支援 295,513千円
【新たな地域経済圏における販路開拓事業費（新規）】
中央日本四国（静岡、山梨、長野、新潟）による農林水産品の域内完結型サブプライチェーンの構築 41,000千円

農林業経営が生産の力アップをサポートを達成
【農産品を選んで購入する県民の割合】
(2020年度:65%)
⇒ 毎年度:90%以上
【ぶじのくに美しく品格のあるぶじり参画者数】
2016年度:63,955人
2019年度:73,369人
⇒2021年度:80,000人
【鳥獣による農作物被害額】
2016年度:383百万円
(2019年度:295百万円)
⇒2021年度:280百万円
【農林漁家民宿延べ宿泊者数】
2016年度:1,180人
(2019年度:4,363人)
⇒2021年度:3,000人



【農業産出額】
2016年:2,266億円
(2019年:1,979億円)
⇒2021年:2,400億円
【経営改革に取り組み茶業経営体数】
(2018～19年度:累計30経営体)
⇒2018～21年度:累計32経営体
【新規農業就業者数】
2016年度:334人/年
2019年度:299人/年
⇒2021年度:340人/年
【農地高度利用化面積】
2016年度まで:累計8,249ha
(2019年度まで:累計10,987ha)
⇒2021年度:累計13,000ha
【県の海外市場開拓支援による農産物輸出新規輸出成功件数】
2013～2016年度:累計302件
(2018～2019年度:累計261件)
⇒2018～2021年度:累計360件

環境と調和し、人々を巻きつける
基本方向3

○多彩で豊富な食材、茶や花などの農産品や、地域資源の磨き上げと、消費者への情報発信
○景観、食、文化など地域資源を活かしたマイクロツーリズム等の展開
○企業や福祉など多様な主体との協働の推進
○ハード整備とソフトが一体となった地域の強弱化

(1) 「食」、茶、花の都づくり
【「食の都」づくり推進事業費（関連事業含む）】
食の都づくり仕事人と連携した食の魅力の発信等を通じた県産食材の消費拡大 (関連事業含む)40,300千円
【お茶関連事業費（再掲）】
お茶の需要創出と世界に向けた魅力発信のため「第8回世界お茶まつり」の開催準備(R4年度開催) 438,249千円
【「花の都」づくり関連事業費】
花きの消費拡大と花を目的とした小中学校への展示や、オンライン花青講座や高談会を実施 61,100千円
(2) 美しく活力のある農山村の創造
【ぶじのくに美しく品格のあるぶじり推進事業費】
企業や福祉との連携強化、新たなライフスタイルに対応した農村マイクロツーリズムの推進 32,800千円
【鳥獣被害防止総合対策事業費助成】
市町の有害鳥獣捕獲活動や、被害防止柵等への助成 207,000千円
【グリーン・ツーリズム推進事業費】
都市農村交流人口の拡大を図るため、滞在型グリーン・ツーリズムの受入体制構築を支援 5,200千円



【農産品を選んで購入する県民の割合】
(2020年度:65%)
⇒ 毎年度:90%以上
【ぶじのくに美しく品格のあるぶじり参画者数】
2016年度:63,955人
2019年度:73,369人
⇒2021年度:80,000人
【鳥獣による農作物被害額】
2016年度:383百万円
(2019年度:295百万円)
⇒2021年度:280百万円
【農林漁家民宿延べ宿泊者数】
2016年度:1,180人
(2019年度:4,363人)
⇒2021年度:3,000人

資料2

15 13 12 11 9 8 4 2

主要施策

方向性